

～研修会報告～

テーマ

「母性看護専門看護師‘教育の実状’と‘活動’を知る」

昨今、医療需要の増加と労働力人口の減少による医療人材の不足が予測され、質の高い医療関連人材の養成と確保が急務となっています。

新潟大学大学院保健学研究科では COC+社会人学び直しワーキンググループの活動の一環として、新潟県における地元人材の育成のため、高度実践看護師を育成するとともに、地域包括ケアを担う医療人材の育成プログラムの検討・開発を行うことを目的に掲げ、活動を進めています。

母性看護専門看護師(以下、母性看護 CNS)は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、母性看護領域に関する専門看護分野の知識・技術を深めた専門家で、全国で 61 名(2016.5.27 現在)が活躍し、本学保健学研究科でも母性看護 CNS の教育を行っています。

このたび、母性看護 CNS の啓発活動ならびに、多職種との連携の課題を考えるために、高度実践看護師育成事業による研修会「母性看護専門看護師‘教育の実状’と‘活動’を知る」を平成 28 年 10 月 18 日(火)保健学科自習室にて開催しました。

【プログラム】

- 11:00～ 紹介【母性看護 CNS の教育】
母性看護 CNS 教育の現状 ～新潟大学・全国～
新潟大学大学院保健学研究科 定方 美恵子
- 11:10～ 発表1【母性看護 CNS 実習の実際】
妊娠期から産褥期における母子のつながりのある支援のために
～母性看護 CNS の実習の経験から～
東北大学病院 小寺 由理
- 11:40～ 発表2【母性看護 CNS の活動】
ウイメンズヘルスの視点からコーディネーションをはかる
～精神疾患合併妊婦の妊娠から産後・今後に向けて～
新潟県済生会三条病院 吉森 容子
- 12:10～ 質疑応答・交流会
- 12:40～ 新潟大学の CNS 教育紹介／遺伝看護専門看護師について
新潟大学大学院保健学研究科 有森 直子



当日は臨床教授等連絡協議会に出席の助産師の皆様、また本研修会に関心があり申し込みをされた助産師の皆様、本学科の学生、講師ならびに企画者側教員、総勢 28 名の参加がありました。



母性看護専門看護師の教育紹介、どのように学びどのような実習を行ったか、実際に活躍している専門看護師(CNS)はどのような活動をしているのか、紹介のあと、活発な意見交換が行われました。最後に、今年申請中の遺伝看護専門看護師の紹介を行いました。



終了後のアンケートには16名の方にお答えいただきました。研修の感想として「とても良かった」12名80%、「よかった」3名18.8%、母性看護専門看護師の教育課程・実習の実際について、「よく知ることができた」10名62.5%、「知ることができた」6名37.5%、母性看護専門看護師の活動について、「よく知ることができた」13名81.3%、「知ることができた」3名18.8%と、母性看護専門看護師の理解を深めるための機会になったと考えました。また、社会人のための専門看護師教育にも「とても関心をもった」、関心のあるキャリアプランコースとして「大学院への進学」といった回答もいただきました。

1: 研修の感想



■とてもよかった ■よかった ■あまりよくなかった ■よくなかった

2: 母性看護専門看護師の教育課程・実習の実際について



■よく知ることができた ■知ることができた
■あまりよく知ることができなかった ■知ることができなかった

3: 母性看護専門看護師の活動について



■よく知ることができた ■知ることができた
■あまり知ることができなかった ■知ることができなかった

4: 社会人のための大学院での専門看護師研究



■とても関心をもった ■関心をもった
■あまり関心をもたなかった ■関心をもたなかった

5: 関心のあるキャリアプランコース



■アドバンス助産師 ■大学院への進学 ■認定看護師
■管理職コース ■院内のキャリアアップコース ■特に今は考えていない
■その他

6: 全体の感想と社会人の学び直しとして大学に期待する企画

- 今までなんとなくしかわかっていなかった母性 CNS について詳しく教えていただき勉強になった。講師と同じくらいの規模の病院なので希望が持てた。
- 中々情報を得る機会がなかったので貴重なお話しありがとうございました。
- 地域保健師との上手な付き合い方について。
- 家族と仕事を抱えながらキャリアアッププラン、インターネット配信等の企画があるとうれしいです。
- 子どもに勤めたいと思った。

多忙な勤務の中、お話をいただいた新潟県済生会三条病院の吉森容子さん、東北大学病院の小寺由理さん、そしてご参集の皆様に感謝を申し上げます。



COC プラスとは、Center of Communityを強化することの略で、「地方創生推進事業」を大学が地域社会と密接に連携することで、新潟県での地元人材が育ち、そのような刺激を受けて、学生が魅力を感じる地方就職先を見つけていくという人材育成を最終的に目指した事業です。楽しく学び、楽しくキャリアアップする、そして、先輩方の姿を見て学生が育ち、また学生の姿を見て先輩方も振り返る、そのような循環型の人育てを、All Niigata で進めていきたいと願っております。

大学院での学び直しをしたいと考えている助産師や女性の健康に関心のある看護師の皆様、魅力のある大学院教育の場を提供できるよう、私たち教員一同、精進してまいります。

平成 28 年 10 月 24 日

企画担当：新潟大学大学院保健学研究科 母性・助産領域教員

定方 美恵子、有森 直子、関島 香代子、佐藤 悦、西方 真弓、石田 真由美